



(題字・大槻文平初代会長)
(隔月1回 10日発行)
発行所
(公財)昭和聖徳記念財団
〒190-0012
東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第3ビル
電話 (042)522-2451
FAX (042)522-7747
http://www.f-showa.or.jp

戦後七十年という大きな節目を過ぎ、二年後には、平成三十年を迎えます。私も八十を越え、体力の面などから様々な制約を覚えることもあり、ここ数年、天皇としての自らの歩みを振り返るとともに、この先の自分の在り方や務めにつき、思いを致すようになりました。

本日は、社会の高齢化が進む中、天皇もまた高齢となった場合、どのような在り方が望ましいか、天皇という立場上、現行の皇室制度に具体的に触れることは控えながら、私が個人として、これまでに考えて来たことを話したいと思えます。

即位以来、私は国事行為を行うと共に、日本国憲法下で象徴と位置づけられた天皇の望ましい在り方を、日々模索しつつ過ごして来ました。伝統の継承者として、これを守り続ける責任に深く思いを致し、更に日々新たに日本と世界の中にあって、日本の皇室が、いかに伝統を現代に生かし、いきいきとして社会に内在し、人々の期待に応えていくかを考えつつ、今日に至っています。

そのような中、何年か前のことになりましたが、二度の外科手術を受け、加えて高齢による体力の低下を覚えるようになった頃から、これから先、従来のように重い務めを果たすことが困難になった場合、どのように身を処していくことが、

象徴としてのお務めについての天皇陛下のおことば(平成28年8月8日)

国にとり、国民にとり、また、私のおとを歩む皇族にとり、良いことであるかにつき、考えるようになりまし。既に八十を越え、幸いに健康であるとは申せ、次第に進む身体を考慮する時、これまでのように、全身全霊をもって象徴の務めを果たしていくことが、難しくなるのではないかと案じています。

私が天皇の位について、ほぼ二十八年、この間の認識をもつて、天皇として、国民を思い、国を、人々と共に過ごして来まし。私はこれまで天皇の務めとして、何よりもまず国民の安寧と幸せを祈ることを大切に考えて来まし。したが、同時に事にあたっては、時として人々の傍らに立ち、その声に耳を傾け、思いに寄り添うことも大切なことと考えて来まし。天皇が象徴であると共に、国民統合の象徴としての役割を果たすためには、天皇が国民に、天皇という象徴の立場への理解を求めると共に、天皇もまた、自らのありように深く心し、国民に対する理解を深め、常に国民と共にある自覚を、自らの内に育てる必要を感じて来まし。こうした意



おことばを述べられる天皇陛下(宮内庁提供)

味において、日本の各地、とりわけ遠隔の地や島々への旅も、私は天皇の象徴的行爲として、大切なものと感じて来まし。皇太子の時代も含め、これまで私が皇后と共に(おこな)つて来たほぼ全国に及ぶ旅は、国内のどこにおいても、その地域を愛し、その共同体を地道に支える市井(しせい)の人々のあることを私に認識させ、私がこの認識をもつて、天皇として大切な、国民を思い、国を、人々と共に過ごして来まし。私はこれまで天皇の務めとして、何よりもまず国民の安寧と幸せを祈ることを大切に考えて来まし。したが、同時に事にあたっては、時として人々の傍らに立ち、その声に耳を傾け、思いに寄り添うことも大切なことと考えて来まし。天皇が象徴であると共に、国民統合の象徴としての役割を果たすためには、天皇が国民に、天皇という象徴の立場への理解を求めると共に、天皇もまた、自らのありように深く心し、国民に対する理解を深め、常に国民と共にある自覚を、自らの内に育てる必要を感じて来まし。こうした意

を、人々への深い信頼と敬愛をもつてなしたことに、私は、幸甚なことでした。天皇の高齢化に伴う対処の仕方が、国事行為や、その象徴としての行為を限りなく縮小していくことは、無理があろうと思われ。また、天皇が未成年であったり、重病などによりその機能を果たし得なくなつた場合には、天皇の行を代行する摂政を置くことも考えられます。しかし、この場合も、天皇が十分にその立場に求められる

を、人々への深い信頼と敬愛をもつてなしたことに、私は、幸甚なことでした。天皇の高齢化に伴う対処の仕方が、国事行為や、その象徴としての行為を限りなく縮小していくことは、無理があろうと思われ。また、天皇が未成年であったり、重病などによりその機能を果たし得なくなつた場合には、天皇の行を代行する摂政を置くことも考えられます。しかし、この場合も、天皇が十分にその立場に求められる

を、人々への深い信頼と敬愛をもつてなしたことに、私は、幸甚なことでした。天皇の高齢化に伴う対処の仕方が、国事行為や、その象徴としての行為を限りなく縮小していくことは、無理があろうと思われ。また、天皇が未成年であったり、重病などによりその機能を果たし得なくなつた場合には、天皇の行を代行する摂政を置くことも考えられます。しかし、この場合も、天皇が十分にその立場に求められる

昭和天皇御製
エスカルゴをこのひるさがり味はひて
ともものらとたのしくかたる
昭和四十六年

ひと口メモ
昭和46(1971)年秋、天皇初の欧州7カ国ご訪問の際に仏バルビゾンのレストランで。この訪欧では合わせて34首お詠みになられました。

香淳皇后御歌
フォンテンブローの池の面に秋の日は
輝きにつつ鈴懸樹散る
昭和四十六年

東京・立川市の国営昭和記念公園にある昭和天皇記念館は、開館10周年を記念して昭和天皇のご生涯を回顧する写真展「思い出の昭和天皇」と題した特別展示を28年12月11日(日)まで開催しています。87年のご生涯をふりかえり、常設展示で展示しきれなかった数々の懐かしいお写真を、関連資料とともにご覧いただけます。

●12月11日まで開催●

併せて、戦後、昭和天皇が皇居仮宮殿において使われた儀式用御椅子を特別に展示しています。この機会にぜひご来館ください。展示のテーマと会期は次の通りです。

回第4期回

「外国賓客を迎えられて、欧米を訪ねられて一童心にかえたディズニーランドー」
28年8月2日(火)～12月11日(日)

(2面に第4期の展示ご案内)

開館10周年 特別展示 「思い出の昭和天皇」

終戦から七十一周年目を、道館で開かれた政府主催迎えた八月十五日、天皇の追悼式には、天皇皇后陛下は全国戦没者追悼式、両陛下、安倍晋三首相や列者が式壇に菊の花を手向け、戦争で亡くなった約三百万人の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

この日、東京の日本武と、正午の時報とともににしました。

平和への誓い新たに 「71年目 全国戦没者追悼式」 陛下、「深い反省」今年も



全国戦没者追悼式にご臨席の天皇皇后両陛下—8月15日正午前、東京・日本武道館(産経新聞社提供)

式典ではこのあと、参列者が式壇に菊の花を手向け、戦争で亡くなった約三百万人の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

両陛下がお心寄せる障害者スポーツ

リオのパラリンピック熱戦展開
国内では来月、岩手で大会開く

リオデジャネイロ2016オリンピックは、日して開かれましたが、皇太子同妃両陛下時代にこの大会開催に向けて関係競技が実施されます。大会では陛下が名

障害者スポーツの祭典、2016パラリンピックが始まりました。一方、国内では十月に岩手で第七十一回国民体育大会と第十六回全国障害者スポーツ大会、さらに、第二十九回全国健康福祉祭がさき大会(ねろりんピック長崎2016)が開催されるなど「スポーツ・健康の秋本番」を迎えます。障害者スポーツについては、天皇皇后両陛下が長らくお心を寄せて来られました。パラリンピックは昭和三十九(一九六四)年に東京大会が第二回とら三日間、約五千五百人が参加し、個人六競技、団体七競技とオープン四

研究助成に応募を 第26回
昭和聖徳記念財団は、件につき五十万円を上限に助成を希望の方は、助成を希望の方は、平成三年度(今回で二十回)から、生物学に関する世界的研究者として昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を、送り先、問い合わせ先など詳細は、ホームページを参照してください。一年間に一



この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。